

子どもたちが道路 修繕や測量に挑戦

NIPPO九州支店

おしごと体験に出展

NIPPO九州支店（藤野俊哉執行役員支店長）は、9月20、21日に行われたイオンモール福岡（福岡県粕屋町）主催の子ども向け体験イベント「まちのおしごと体験」に出展し、参加した延べ約60人の子どもたちに道路舗装工事の仕事を楽しくPRした。

警察官や介護福祉士、保育士、美容師、スポーツイ

ンストラクター、ショップ店員など幅広い職種の体験イベントに「道路工事屋さん」として出展。

子どもたちは星やハート、魚など趣向を凝らしたさまざまな形の穴に常温の

アスファルト合材をスコップで入れ、その上に乗って踏み固めるポットホール修繕作業の写真を撮り、レベル測量

などに挑戦した。通常のアスファルト舗装と遮熱性舗装に実際に手で触れ、温度

の違いを体感した。

参加後のアンケートでは保護者から「めったにできない体験ができ、終わった後、（道路などの）ひび割れや穴を見つけて子どもが興味を示していた」といった喜びの声が寄せられた。



子どもたちが道路工事体験

N I P P O九州支店



NIPPO九州支店は9月20、21の両日、イオンモール福岡（福岡県粕屋町）が開いた仕事体験イベント「まちのおしごと体験」に出展し、道路工事の体験を提供した。2日間で約60人の子ど

もたちが参加した。

子どもたちは星やハート、魚などさまざまな形の穴に常温合材をスコップで入れ、上に乗って固めるポットホール修繕作業やレベル測量などに挑戦した。また、通常のアスファルト舗装と遮熱性舗装の温度差も手で触れて体感した。参加者は「滅多にできない体験ができた」と満足気だった。

ブースでは道路のインフラとしての役割も説明し、「生活の基盤を支える道路の役割を紹介できた」としている。

同社は、10日から13日にかけて開かれるツール・ド・九州2025の大会会場にブース出展するなど、今後も業界の周知に取り組む考えだ。